

Cappella Accademica

50th Anniversary

54th Regular Concert

指 揮 : 吉川 紀彦

管弦楽 : カペラ・アカデミカ

2024 年 10 月 26 日(土) 開場 13:30 開演 14:00

浜松市福祉交流センター ホール

助成 / 公益信託チヨタ遠越隼一文化基金

後援 / 浜松市、(公財)浜松市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社

ホール内客席では携帯電話など全ての電子機器の電源をお切りください。タブレット端末など光を発する機器も、周囲の方の鑑賞の妨げとなりますので、ご使用にならないようお願いします。

祝 辞

カペラ・アカデミカの皆様、創立50周年記念演奏会の開催、まことにおめでとうございます。
思い起こせば、ちょうど50年前の1974年10月25日、この会場近く、同じ成子町内にあったカトリック浜松教会聖堂にて、浜松で初めての本格的なバッハプログラムによる演奏会「バッハのタベ」が開かれました。演奏曲は「カンタータ140番：目覚めよと呼ぶ声あり」、「マニフィカート・ニ長調」の2曲でした。指揮は故濱田徳昭（はまだ のりてる）先生、合唱はポリフォニカ・アンブロジーナ（浜松）とポリフォニカ・グレゴリアーナ（豊橋）、そして管弦楽がカペラ・アカデミカでした。

そもそもこの地でバッハやバロック音楽を演奏しようという動きが始まったのは1973年のことでした。故濱田徳昭先生の薫陶を受けた若者3名が、たまたま同時期に磐田・浜松・豊川の地に職を得て移り住んだことがきっかけです。濱田先生の呼びかけに応じて豊橋に集まった3名は、すぐに意気投合し「古典合唱音楽研究会」を発足させることになりました。その日は1973年3月21日でしたが、くしくもバッハの誕生日でありました。翌1974年には二つの姉妹合唱団が誕生し、そして共演する管弦楽団として、豊橋と浜松の専門家・愛好家により組織されたのがカペラ・アカデミカでした。

「バッハのタベ」を成功裏に終えてから、カペラ・アカデミカの皆さんは独自の室内楽活動を開始されました。そして今日に至るまで、半世紀の長きにわたり、バロックから古典期の室内楽に真摯に取り組む姿勢を貫かれました。実に54回にも及ぶ定期演奏会を実施されたことは、国内でも稀なことであり、称賛に値する偉業であります。

同時に活動を始めた私達合唱団は、変遷を経て、現在は浜松バッハ研究会、豊橋バッハアンサンブルとして活動を続けておりますが、昨年4月に「豊橋・浜松でのBach演奏50周年記念」としてバッハの「ミサ曲口短調」を演奏いたしました。

このように私達の活動は、東三河・遠江地区における伝統的な音楽文化に数えられるほどになっていると自負しております。

どうぞこれからも「カペラ」の活動を末永く継続されますように。

浜松バッハ研究会顧問 河野周平

御 挨拶

本日は、カペラ・アカデミカの創立50周年記念第54回定期演奏会にご来場頂き有難うございます。

カペラ・アカデミカは、昭和49年(1974年)創立以来 浜松、豊橋両市を拠点に、バッハ、ヘンル、コレッリ等のバロック音楽を主たるレパートリーとし、時折モーツァルト、ハイドン等の初期古典派の作品を加えて、演奏会を開催してまいりました。

昭和49年(1974年)9月2日に故濱田徳昭先生及びヴァイオリニストの故矢島榮子先生のご指導により初練習を豊橋仔羊幼稚園で練習を開始し、浜松カトリック教会で演奏会を開催してから今年で50年となります。この50年間の活動を顧みて、団員一同感激を新たにしておりますが、このように長く活動できたのもひとえに皆様の暖かい御支援のお陰と心より感謝しております。今後とも音楽を通じて遠州・東三河の三遠南信文化交流のお役に立てることを切に願っております。

今回は、記念の演奏会としてイタリア及びドイツ・バロックの作品を取り上げました。アレッシアンドロスカルラッティの、フルートが活躍する合奏協奏曲形式のシンフォニア第1番へ長調は浜松では初演かと思われます。コレッリのクリスマス協奏曲及びバッハのヴァイオリン協奏曲第2番はよく知られており、当楽団でも過去に何回となく演奏したことがあります。ヘンデルの『水上の音楽』は、イギリス王室の威光を示す祝典用に野外での演奏が想定された、ヘンデルのスケールの大きさを示す代表的な作品です。ホルン・トランペットが活躍するほか有名なアリアを含む優雅で荘厳な曲です。

今後ともサロンのような雰囲気の中で楽しい演奏会作りを心掛けながら、更に新たな成長に向かって精進して参たいと考えております。これからも私達の活動を温かく見守って頂き、ご声援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

カペラ・アカデミカ団員一同

出演者

吉川 紀彦(指揮)

神奈川県横浜市出身。ヴァイオリンを藤田康夫、指揮法を濱田徳昭先生の各氏に師事。大阪労音管楽団でヴァイオリン奏者兼練習指揮者として活躍。1970年に大阪市民管弦楽団の設立に参画。1974年にカペラ・アカデミカの設立に参画。ヤマハ発動機(株)勤務後、(株)アルモニコス設立に参画し代表役員等を経て、現在アルカート（海外技術コンサルタント業）代表。カペラ・アカデミカ顧問。

永井 正子(ヴァイオリン)

愛知県蒲都市出身。ハングル音楽院にて研鑽を積みディプロマ取得。ヴァイオリンを松野友子、神戸潤子、トーマス・ミッテルベルガー、ミヒヤエル・シュトリヒャルツの各氏に師事。レオ・フィリップス、ジェラル・プーレ氏の公開レッスンを受講。定期的にリサイタルを開催。室内楽や室内オーケストラなどの活動も行う。カペラ・アカデミカ団員。

カペラ・アカデミカ

浜松と豊橋在住の専門家、アマチュアにより結成された室内合奏団で、今は亡きバロック音楽の大家で、現天皇陛下が師事された故濱田徳昭先生により命名され、1974年（昭和49年）9月2日に誕生。濱田先生のもとで主に宗教曲の演奏法などを学び、その後合奏団独自の定期演奏会を年2回及びその他の演奏会などを開催し、室内アンサンブルのインティメイトな世界を創り上げることを目標としている。

<u>1st Violin</u>	<u>2nd Violin</u>	<u>Viola</u>	<u>Cello</u>	<u>Double bass</u>	<u>Harpsicord</u>
磯部 幸恵	磯貝 ゆり	木下 正明	東井 真之	秋山久美子	釘本 眞理
◎釘本 英範	今井 重人	桑原 義彦	浜島 吉男	早川 浩一	
永井 正子	末田 良	小林はる奈	深谷 尚司		
間部あずさ	村上 香織	船山 敏	深谷 順子		
<u>Flute</u>	<u>Oboe</u>	<u>Bassoon</u>	<u>Trumpet</u>	<u>Horn</u>	
石川 眞理	大橋 弥生	斎藤 善彦	黒木 智穂	佐藤 博子	
続 眞樹	佐藤 慶子		福田 徳久	末永雄一郎	
◎はコンサート・マスター					

プログラム及び曲目解説

◆アルカンジェロ・コレッリ（1653 年～1713 年） 合奏協奏曲作品 6 第 8 番 『クリスマス協奏曲』

『クリスマス協奏曲』は、バロック音楽の代表的な作品の一つです。1690 年頃に作曲され、特にクリスマスの礼拝や祝祭で演奏されることが多く、曲は 6 つの楽章から成り、牧歌的な雰囲気と静かな終曲「パストラーレ」が特徴的です。全体を通じて、温かさと平穏さが感じられる音楽で、特に聖夜にふさわしい優美な作品です。

◆アレッサンドロ・スカルラッティ（1660 年～1725 年）合奏協奏曲形式のシンフォニア第 1 番へ長調

合奏協奏曲形式のシンフォニア第1番へ長調は、バロック時代の音楽で、オペラ作曲家としても知られるスカルラッティの器楽作品です。このシンフォニアは、5楽章から成る短い作品で、軽快で明るいへ長調の響きが特徴です。彼の作品は、繊細な旋律とリズムカルな伴奏が特徴で、バロック期のイタリア音楽の優雅さと力強さを反映しています。特にオペラの序曲としても使用されることが多かったスタイルを持つ作品です。

◆ヨハン・セバスティアン・バッハ（1685 年～1750 年）ヴァイオリン協奏曲 第 2 番 ホ長調 BWV1042

ヴァイオリン協奏曲第2番ホ長調 BWV1042 は、バロック音楽の代表作であり、彼の円熟期に作曲されました。3楽章から成り、躍動感あふれる第1楽章、優美で抒情的な第2楽章、そして快活で生き生きとした第3楽章が特徴です。バッハはヴァイオリンの技巧とオーケストラとの対話を巧みに織り交ぜ、この作品を通じて豊かな音楽的表現を追求しています。バロック時代の協奏曲形式の完成形とされ、現在も広く演奏されています。

~~~~~休憩（15分）~~~~~

## ◆ゲオルク・フリードリッヒ・ヘンデル（1685 年～1759 年）組曲『水上の音楽』全曲

組曲『水上の音楽』は、1717年にイギリス国王ジョージ1世の命で作曲されバロックの名作です。この組曲は3つの部分からなり、合計で23曲の楽章で構成されています。王がテムズ川を船で進む際の祝賀行事で演奏されたことから、「水上の音楽」という名前がつけました。華やかな管楽器や弦楽器の響きが特徴で、優雅さと力強さが共存する曲調は、祝祭的な雰囲気を盛り上げます。現在でも、バロック音楽の名作として親しまれています。

## 演奏会の歴史

| 回 | 開催日              | 演奏場所      | 備 考         |
|---|------------------|-----------|-------------|
| 1 | 1974 年 10 月 24 日 | 豊橋市民文化会館  | 古典合唱研究会と共演  |
|   | 1974 年 10 月 25 日 | 浜松カトリック教会 |             |
| 2 | 1974 年 4 月 18 日  | 豊橋市民文化会館  |             |
|   | 1974 年 4 月 19 日  | 浜松市民会館    |             |
| 3 | 1975 年 11 月 24 日 | 浜松カトリック教会 |             |
| 4 | 1976 年 11 月 20 日 | 豊橋市民文化会館  |             |
|   | 1976 年 11 月 21 日 | 浜松市民会館    |             |
| 5 | 1976 年 11 月 28 日 | 午前 ヤマハホール | カペラ・アカデミカ主催 |
|   | 1976 年 11 月 28 日 | 午後 ルーテル教会 |             |
| 6 | 1976 年 12 月 13 日 | 豊橋勤労福祉会館  | 古典合唱研究会と共演  |
|   | 1976 年 11 月 28 日 | 浜松市民会館    |             |
| 7 | 1977 年 11 月 21 日 | 浜松市民会館    |             |
|   | 1977 年 11 月 22 日 | 豊橋市民文化会館  |             |
| 8 | 1977 年 12 月 18 日 | 豊橋市民文化会館  |             |
|   | 1977 年 12 月 20 日 | 豊橋ルーテル教会  |             |

## 以降カペラ・アカデミカ主催による単独演奏会

| 回  | 開催日              | 演奏場所          | 回  | 開催日              | 演奏場所          |
|----|------------------|---------------|----|------------------|---------------|
| 9  | 1977 年 12 月 18 日 | 浜松ルーテル教会      | 32 | 2000 年 9 月 17 日  | 浜松市福祉文化会館     |
| 10 | 1978 年 9 月 10 日  | 浜松ルーテル教会      | 33 | 2002 年 9 月 17 日  | 浜北市なゆたホール     |
| 11 | 1985 年 12 月 14 日 | 浜松ルーテル教会      | 34 | 2003 年 7 月 13 日  | 浜北市なゆたホール     |
| 12 | 1986 年 7 月 20 日  | 浜松市福祉文化会館     | 35 | 2003 年 12 月 14 日 | 豊橋ルーテル教会      |
| 13 | 1987 年 2 月 21 日  | 豊橋駅前ホール       | 36 | 2005 年 10 月 30 日 | 浜松市勤労会館 U ホール |
| 14 | 1988 年 1 月 31 日  | 遠州栄光教会        | 37 | 2006 年 12 月 10 日 | 浜松市勤労会館 U ホール |
| 15 | 1988 年 10 月 8 日  | クリエイト浜松       | 38 | 2008 年 3 月 8 日   | 浜松市勤労会館 U ホール |
| 16 | 1989 年 10 月 22 日 | 浜松市福祉文化会館     | 39 | 2009 年 4 月 11 日  | 浜松市勤労会館 U ホール |
| 17 | 1991 年 6 月 20 日  | 掛川美感ホール       | 40 | 2010 年 4 月 10 日  | 浜松市勤労会館 U ホール |
| 18 | 1991 年 12 月 23 日 | 浜松市庁舎         | 41 | 2010 年 12 月 25 日 | 豊橋市民文化会館      |
| 19 | 1992 年 6 月 21 日  | 遠州栄光教会        | 42 | 2012 年 4 月 8 日   | 浜松市地域情報センター   |
| 20 | 1993 年 2 月 28 日  | 遠州栄光教会        | 43 | 2012 年 12 月 8 日  | 浜松市地域情報センター   |
| 21 | 1993 年 10 月 11 日 | 遠州栄光教会        | 44 | 2013 年 11 月 4 日  | 浜松市地域情報センター   |
| 22 | 1994 年 6 月 12 日  | 豊橋市文化会館       | 45 | 2014 年 11 月 16 日 | 浜松市地域情報センター   |
| 23 | 1994 年 6 月 19 日  | 浜松市福祉文化会館     | 46 | 2015 年 11 月 23 日 | 浜北市文化センター     |
| 24 | 1994 年 11 月 27 日 | 浜松市福祉文化会館     | 47 | 2016 年 11 月 25 日 | 浜北市文化センター     |
| 25 | 1995 年 6 月 18 日  | 浜松市福祉文化会館     | 48 | 2017 年 12 月 9 日  | 浜松市福祉交流センター   |
| 26 | 1995 年 11 月 26 日 | 遠州栄光教会        | 49 | 2018 年 10 月 20 日 | 浜松市勤労会館 U ホール |
| 27 | 1996 年 6 月 16 日  | 浜松市福祉文化会館     | 50 | 2019 年 10 月 19 日 | 浜松市福祉交流センター   |
| 28 | 1996 年 12 月 22 日 | 浜松市庁舎         | 51 | 2021 年 10 月 30 日 | 浜松市福祉交流センター   |
| 29 | 1997 年 6 月 15 日  | 浜松市勤労会館 U ホール | 52 | 2022 年 10 月 29 日 | 浜松市福祉交流センター   |
| 30 | 1998 年 6 月 14 日  | 浜松市福祉文化会館     | 53 | 2023 年 10 月 21 日 | 浜松市福祉交流センター   |
| 31 | 1999 年 10 月 10 日 | 浜松市福祉文化会館     | 54 | 2024 年 10 月 26 日 | 浜松市福祉交流センター   |